

1 研究開発プロジェクト名:

漢方薬の新たな価値創出と健康・自立推進プロジェクト

2 当該年度の研究開発プロジェクト実施予定期間:

2018年4月1日から2023年3月31日 / 5年計画の1年目

3 応募者

氏名	寺田 弘
所属機関	新潟薬科大学
所属部局	健康・自立総合研究機構
職名	機構長

4 研究開発プロジェクトの概要

健康・自立とは、精神的、社会的な面でも充実感のある総合的な状態を意味し、自立して活動できる肉体を作り、前向きに積極的に自立した人生をおくることができるようにすることである。新潟薬科大学では、「健康・自立」の生活を確立するための研究を行っており、本研究開発プロジェクトを通じて、漢方薬の新たな価値創出を行うことで、健康・自立を推進していく。

- ・ 基礎科学力の活用：健康市場の多様なニーズに対応するために漢方薬に関連する研究成果を社会へ還元する。研究者がスピード感のある地域ベンチャー企業と連携することで戦略的な漢方薬原料の国内栽培を推進する。また、研究開発等から得たデータを収集、解析し、漢方薬に関連する調査研究と事業開発の発展を試みる。
- ・ 安心・安全への取り組み：昨今の健康意識の高まりから消費者の視点に立った安心・安全な製品の安定供給が求められており、漢方薬原料も例外ではない。中国産が大半を占める漢方薬原料においても国内栽培が強く求められている。漢方薬原料の栽培及び品質評価、管理、収穫後の製剤の調製等、漢方薬原料栽培には、クリアすべき課題が多い。そこで、学術研究を応用し、地域環境に合わせた国産漢方薬原料栽培の事業化等を行う。
- ・ 地方創生：プログラム・マネージャーを養成し、漢方薬原料の国内栽培及びその事業化をプロデュースする。例えば、国産の漢方薬原料栽培を促進するために地域の耕作放棄地等を活用する。栽培では、研究機関及び栽培に精通した団体や指導者が地域の環境に最適な漢方薬原材料選定を支援する。加えて、栽培にスマート農業を導入し、生産性および品質向上をはかる。さらに栽培した漢方薬原料を活用した製品開発や販売などを地元のベンチャー企業が担い、地域、大学、企業が密接に連携することであらゆる世代が適材適所で活躍できる場を提供する。